

第4期物部川地域アクションプランの 進捗状況等について

物 部 川 地 域 本 部

令和4年7月4日（月）

物部川地域アクションプランの進捗状況確認資料 (令和3年度の実施状況と令和4年度の展開)

令和4年7月4日
物部川地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度の実施状況と令和4年度の展開（総括）

(1) 総評

令和3年度は、26項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めてきた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、幅広い分野の事業者が大きな打撃を受けている。各事業者に対しては、引き続き事業の継続や雇用の維持に係る支援を行うとともに、新しい生活様式を前提とした地域内の消費喚起・観光需要等の回復による地域経済の再生に向けた取り組みを進めてきた。

農業分野では、新型コロナウイルス感染拡大により飲食店向けの取引が減少するなどの影響が一部でみられるが、日本一の生産量を誇るニラやシシトウといった地域を代表する施設園芸作物の産地の維持・拡大に向けて、省力化機器の導入や労働力の確保、新規就農者の育成など生産基盤の充実・拡大に向けた多様な取り組みを引き続き推進している。

林業分野では、森林組合や林業事業体が主体となり、森の工場の拡大に向けた施業地の集約と原木の増産に向けて、間伐の推進や作業道の開設をはじめ、林業大学校と連携した担い手の確保や、高性能林業機械の導入等による生産性の向上に取り組んでいる。また、ICT等を活用した効率化、省力化の推進を図っている。

水産業分野では、香南市でシイラを中心とした水産物の販路拡大の取り組みが進められており、売上アップを目指した衛生管理の向上や生産体制の強化とともに、県外の取引先との取引量の増大や安定的な販路拡大などに取り組んでいる。昨年度は、既存取引先との取引量の拡大や新たな取引先の確保に取り組んだものの、全国的なシイラの不漁に伴い原材料が確保できず売上が減少した。今年度も引き続き衛生管理の向上、生産体制の強化及び販路拡大に取り組むとともに、今年度から新たに取引を開始した取引先も含めた既存取引先との安定的な取引の継続を図る。

商工業分野では、南国市が(株)海洋堂高知と連携して中心市街地の活性化に取り組んでおり、令和2年度にオープンした「南国市ものづくりサポートセンター」は、企画展やものづくりワークショップの開催による誘客促進により、3月末時点で来館者は7万2千人を超えている。この来館者を中心市街地に誘導する仕組みづくりの検討が進められている。

香美市のIターン移住者による、地域の資源にこだわったクラフトビール製造販売においては、インターネットサイトを通じた個人向けの売上が好調であり、地域限定

商品や期間限定商品を効果的に販売し、新規顧客の獲得等につなげている。

香南市では高知県産ワインの醸造施設が昨年収穫したブドウから本格的な醸造を開始しており、「のいち醸造所」として4月29日にグランドオープンしている。

観光分野では、新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の大幅な落ち込みを受け、各観光施設等において大きな打撃を被った。

こうした中、物部川流域3市の観光関係事業者等の連携により、平成31年3月に設立された（一社）物部川DMO協議会が物部川地域の観光施設を対象とした独自の衛生環境基準認証制度を整えるなど、新しい生活様式に対応し、この地域を訪れる観光客が安心、安全に観光できる場とするための取り組みを進めている。

その他、新たな観光需要の喚起のために体験型観光も企画し、個人向け体験観光のコンテンツの充実を図るなど、年間を通して観光客を誘客できる商品造成に取り組んでいる。

本年度は全24項目の地域アクションプランに関して、昨年度に引き続き実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、市、関係機関等と連携し各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいく。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※進捗状況の基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	[P (Plan)]						[D (Do)]		[C (Check)]・[A (Action)]			R4[P (Plan)]	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
農業	1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト (香南市、香美市) 【実施主体】 ◎・JA高知県（香美地区） ◎・JA高知県（香美地区ニラ部会） ◎・(一社)香南市観光協会 ◎・(一社)香美市観光協会 ・香南市 ・香美市 ・シミズ・アグリプラス(株) ※地域産業クラスター関連（日本一のニラ産地拡大プロジェクト）	ニラ販売額 (JA入金額) 23.3億円 (R元) ※園芸年度(香美地区) 8～7月	23.3億円	23.6億円	29.7億円	29.7億円	1 生産上の対策 ・収量向上に向けた個別支援 ・規模拡大農家の経営実態調査及び診断 ・新規就農者の経営改善指導 ・空きハウス情報の収集 ・グリーンカレッジ活動支援 ・搬入ニラの品質向上対策 ・そぐりセンター利用者支援 2 流通・販売上の対策 ・集出荷場設備整備計画検討 ・集出荷場解体工事 ・集出荷場新築工事	1 生産上の対策 ・収量向上に向けた個別指導（4戸、延べ87回） ・規模拡大農家の経営実態調査対象農家2戸の選定(6月)計30戸のデータを収集し分析・診断（8～9月） ・新規就農者の経営改善指導（延べ41回） ・空きハウス情報の収集(6回) ・グリーンカレッジ研修会(3回)、役員会(3回) ・品質向上のための個別巡回実施（延べ26戸） ・そぐりセンター利用説明会（1回）(4月)→3戸の新規利用 2 流通・販売上の対策 ・包装機の新規導入協議（3回）(4～12月) ・解体工事（8～12月） ・新築工事（1月～）	21.9億円 ・R3目標達成率：73.7% ・対前年比：93.0%	(成果) ・経営実態調査の結果、個人経営の場合概ね1ha程度の栽培面積が経営効率が高いことが判明 ・空きハウスのマッチング2戸 (課題) ・コロナ禍の影響により新規就農PR未実施 ・そぐりセンターの安定稼働 (今後の方向性) ・収量向上に向けた個別指導の継続 ・規模拡大農家の経営実態調査結果に基づく今後の経営指導 ・そぐりセンターへの搬入ニラの品質向上により等級アップに繋げる ・そぐりセンターの安定稼働に向けて周年利用の推進 ・集出荷施設の整備	29.7億円	1 生産上の対策 ・収量向上に向けた個別指導 ・規模拡大農家への経営指導 ・新規就農者の経営改善指導 ・空きハウス情報の収集・提供 ・グリーンカレッジ活動支援 ・搬入ニラの品質向上対策 ・そぐりセンター利用説明会 2 流通・販売上の対策 ・集出荷場新設工事（R3～R4） ・集出荷場高度化設備導入	
							1 消費拡大、認知度向上の対策 ・クラスタープランの更新・策定	1 消費拡大、認知度向上の対策 ・実施団体との協議（3回） ・構成員との協議（7団体） ・クラスタープランの策定（3月）	0円 ・R3目標達成率：0% ・対前年比：- ※コロナ禍の影響により、イベント等への出店がなく売上げ実績無し	(成果) - (課題) ・クラスタープランで定めた参加飲食店の増加とニラの確保 (今後の方向性) ・参加店舗の増加に向けて商工会と連携した協力依頼 ・ニラの確保に向けJAとの調整	141.4万円	1 消費拡大、認知度向上の対策 ・クラスタープランに基づく飲食店、ニラの確保	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
農業	2 南国市農業生産拡大プロジェクト (南国市) 【実施主体】 ◎・JA高知県(土長地区) ◎・JA高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル ・Aitosa(株) ・(株)イチネン農園 ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)	シシトウ生産量 606t (R元) ※園芸年度 9～8月	606t	543t	551t	615t	1 シシトウの生産拡大 ・ハウス整備後のシシトウ生産出荷計画の作成及び栽培支援 ・農業生産法人の栽培計画作成支援 ・新規就農者の研修体制整備及び支援	1 シシトウの生産拡大 ・ハウス整備後のシシトウ生産出荷計画の作成及び栽培支援 (Aitosa社生産出荷計画打合せ、1回、栽培支援、延べ49回) ・農業生産法人の栽培計画作成支援 (Aitosa社栽培計画打合せ、延べ7回) ・新規就農者の研修体制整備及び支援 (5戸、延べ65回)	515t ・R3目標達成率：93.5% ・対前年比：94.8%	B (成果) ・Aitosa社が栽培を開始し、ほぼ計画どおりの出荷量となっている。 ・新規就農者の技術向上が見られ、出荷量が安定 (課題) ・出荷調整量の増加による出荷場受け込み量の限界 (今後の方向性) ・Aitosa社の安定出荷のための技術支援 ・収量向上に向けた個別指導の継続 ・出荷場受け込み量の改善	594t	1 園芸団地の整備による生産拡大・農業生産法人及び若手農業者の育成 ・農業生産法人・若手農業者の栽培支援 ・農業生産法人の栽培計画作成支援	
	ニラ生産量 927t (R元) ※園芸年度 9～8月	927t	822t	828t	839t	1 ニラの生産拡大 ・調製作業施設整備計画の作成 ・省力化施設整備のための事業申請等の計画作成支援	1 ニラの生産拡大 ニラのそぐりセンター(南国そぐりセンター-利用組合)の取り組み状況の確認：2回(そぐりセンターはR3.4.1に設置済) 利用組合員数(R4.3月末)：11名 雇用人数(R4.3月末)：3名	846t ・R3目標達成率：102.2% ・対前年比：102.9%	A (成果) ・そぐりセンターの設置運用開始 (課題) ・そぐりセンターの安定運営 (今後の方向性) ・そぐりセンターの稼働状況確認と支援	833t	1 調製作業省力化設備の運用状況確認及び支援 ・運用状況の確認及び支援		
	ピーマン類生産量 (ピーマン・パプリカ) 857t (R元) ※園芸年度 9～8月	857t	895t	876t	1,101t	1 ピーマン類の生産拡大 ・ハウス整備後のピーマン生産出荷計画の作成 ・パプリカの増収・品質向上 ・パプリカの増収・品質向上対策支援 2 ハウス整備後の栽培画作成・実施支援 ・ハウス整備後のピーマン生産出荷計画の作成	1 ピーマン類の生産拡大 ・イチネン農園、市、県による農業参入協議：4回 R4.8月に1ha規模でのピーマン栽培を計画 ・南国市植田地区で農地取得済(R2) ・栽培計画支援(イチネン農園)：2回 2 ハウス整備後の栽培画作成・実施支援 ※ハウスはR4.7月完成予定	900t ・R3目標達成率：102.7% ・対前年比：100.6%	A (成果) ・パプリカの生産量が増加し全体としては目標の出荷量を達成 (課題) ・次年度にイチネン農園が1.1haでピーマンの栽培を開始する予定であるため、技術支援が必要 (今後の方向性) ・イチネン農園への栽培計画及び技術支援 ・パプリカの安定出荷に向けた技術支援	883t	1 園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成 ・イチネン農園ハウス整備完了予定(7月) ・ハウス整備後のピーマン生産出荷計画の作成 2 ハウス整備後の栽培計画作成・実施支援		
	「還元野菜」の栽培協力農家数 6戸(H27～R元累計)	6戸(H27～R元累計)	6戸(H27～R2累計)	7戸(H27～R3累計)	7戸(H27～R5累計)	1 「還元野菜」の生産拡大 ・モロン、イチゴ等の生産および栽培協力農家の拡大 ・栽培管理への助言	1 「還元野菜」の生産拡大 ・イチゴ育苗、栽培管理支援：17回 ・JA等からの聞き取りによる状況調査：1回	6戸 ・R3目標達成率：85.7% ・対前年同期比：100.0%	B (成果) ・イチゴの栽培技術が向上し、病害虫での被害が軽減 (課題) ・還元野菜栽培協力農家の拡大 (今後の方向性) ・現行栽培農家への助言及び技術支援	7戸(H27～R4累計)	1 市内既存農家や組織の生産維持・規模拡大 ・モロン、イチゴ等の生産および栽培協力農家の拡大 ・栽培管理への助言		

分野	【P (Plan)】					【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】			
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
農業	3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化 (南国市) 【実施主体】 ◎・JA高知県土長地区出資農業生産法人(株)南国スタイル ◎・南国市 ・JA高知県(土長地区) ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・(一社)南国市観光協会 ・南国市内食品加工事業者 ※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)	「還元野菜」の売上高 617万円(H30)	638万円	610万円	800万円	1,000万円	1「還元野菜」の販路拡大 ・還元野菜のインターネット販売 ・販路拡大に向けた売り込み	1「還元野菜」の販路拡大 ・還元野菜のインターネット販売(通年) ・販路拡大に向けた売り込み(通年)	961万円 ・R3目標達成率: 120.1% ・対前年比: 157.6% ※R2年度はコロナ禍の影響で売上が大幅に落ち込んでいたため。	S (成果) ・R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、(株)日本トリムの販促品としてのパブリカの利用が少なかったが、今年は例年どおりの販売となっている。 (課題) ・エビデンスがないため、トリムユーザー以外への広がりに苦心している。 (今後の方向性) ・今後も現在の販売ルートを維持しつつ、新規ルートの開拓を模索する。	900万円	1「還元野菜」の販路拡大 ・還元野菜のインターネット販売 ・販路拡大に向けた売り込み	
	学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース) 26.3%(H30)	23.0%	22.1%	27.0%	27.0%	1「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消) ・まほろば畑の開催(月1回) ・学校給食での地元食材の使用 ・南国市内事業者への野菜配送	1「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消) ・まほろば畑の開催(月1回)(※2月は新型コロナウイルス感染拡大のため休止) ・学校給食への地元野菜の利用を継続して行っている。 ・配送先を南国市内に限り継続している。	26.5% ・R3目標達成率: 98.1% ・対前年比: 119.9% ※前年度は長雨による不作およびコロナによる休校等のため、供給機会が減少した。	B (成果) ・まほろば畑来客数: 計1,515人 ・学校給食における地元野菜の供給金額: 682万円 ・南国市内事業者への野菜配送: 19事業所 (課題) ・まほろば畑は後継者の確保が課題だが、具体的な動きはなく、本人たちは自分たちで15年続けて行くことを目指して頑張っている。 ・地元野菜は天候不順などにより要望があっても供給できないことがある。 (今後の方向性) ・現在の活動を継続していく	27.0%	1「南国野菜」の地元消費拡大(地産地消) ・まほろば畑の開催(月1回) ・学校給食での地元食材の使用 ・南国市内事業者への野菜配送		
	地域資源を活用した新商品数 13品目(H28~R元累計)	13品目(H28~R元累計)	9品目	8品目(R2~3累計)	12品目(R2~5累計)	1「南国野菜」を使った加工品の開発・販売(地産外商) ・南国市中小企業振興事業費補助金(特産品開発)を活用した商品開発 ・クラスター構成団体による商品開発	1「南国野菜」を使った加工品の開発・販売(地産外商) ・南国市中小企業振興事業費補助金採択件数(3件うち1件事業取り下げ) ・地域AP事業者、クラスター構成団体による商品開発	13品目(R2~累計) ・R3目標達成率: 162.5% ・対前年同期比: 144.4%	S (成果) ・南国市中小企業振興事業費補助金による商品開発: 2品目(うち1品目は3種類のフレーバーを発売) ・乾燥野菜ミックス、乾燥果物ミックス、芋館バター(地域AP事業者、クラスター構成団体による商品開発) (課題) ・南国市中小企業振興事業費補助金を活用する事業者の固定化 (今後の方向性) ・南国市中小企業振興事業費補助金を活用する事業者の掘り起こし ・地域AP事業者、クラスター構成団体事業者の商品開発の相談対応、支援策の紹介	10品目(R2~4累計)	1「南国野菜」を使った加工品の開発・販売(地産外商) ・南国市中小企業振興事業費補助金(特産品開発)を活用した商品開発 ・クラスター構成団体による商品開発		

分野	【P (Plan)】					【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出发点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
農業	4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策（香美市） 【実施主体】 ◎・JA高知県（香美地区物部柚子生産部会） ・JA高知県（香美地区） ・香美市 ・農地中間管理機構（高知県農業公社） ・NPO法人いなかみ	ゴズ販売金額 4.9億円 (H28～R元平均)	4.9億円 (H28～R元平均)	4.8億円 (H29～R2平均)	4.9億円 (H30～R3平均)	5.0億円 (R2～5平均)	1 担い手対策 (1) 担い手の確保・育成、受入体制の見直し ・新規就農希望者への支援 就農希望者との面談 収穫作業の体験 ・担い手の計画策定支援 研修生の研修状況と就農意向の確認 研修内容、園地の改植時期等の検討 先進農家研修に向けた事前確認 研修内容、園地の改植時期等の検討 ゴズ研修カリキュラム案の作成 新規就農者3戸の営農状況の確認と個別指導	1 担い手対策 (1) 担い手の確保・育成、受入体制の見直し ・新規就農希望者への支援 就農希望者との面談（4月、11月、2月：2人） 収穫作業の体験（10～11月：3回・1人） ・担い手の計画策定支援 研修生の研修状況と就農意向の確認（6月・1回） 先進農家研修に向けた事前確認（7月・3回） 研修内容、園地の改植時期等の検討（9月・1回） ゴズ研修カリキュラム案を作成し、受入農家と内容を検討（10月・1回） 新規就農者3戸の営農状況の確認と個別指導（延べ14回）	4.5億円 (H30～R3 園芸年度の平均値) ・R3目標達成率：91.8% ・対前年同期比：93.8%	B (成果) ・香美市での就農決定（受入農家決定、R4.4月研修開始予定）：1人 ・研修生が農家研修を開始（8月：1人） ・新規就農者の粗選果具合が良好であることを確認 (課題) ・研修生受入体制の強化（情報発信等） ・担い手への園地集積 (今後の方向性) ・部会において、研修生の課題と対応策を明確化し、就農に向けて支援する。 ・新規研修生の研修開始（R4.4月～）に向けた支援	5.0億円 (R元～4平均)	1 担い手対策 ・新規就農希望者への支援 ・研修生の就農に向けた支援 ・新規就農者支援 ・親元就農促進に向けた活動 ・就農相談会でのPR活動	
	青果ゴズ出荷量 760t (H28～R元平均) ※園芸年度 9～8月	760t (H28～R元平均)	750t (H29～R2平均)	760t (H30～R3平均)	770t (R2～5平均)	2 流通、販売上の対策 (1) 冬至玉出荷予測方法の検討 ・前年の出荷予測個票と実測値の誤差実態調査 ・出荷予測個票の配布 (2) 集出荷場の整備・作業効率の向上 ○冬至玉出荷作業の効率化のためのレーンの見直し (11月) (3) 「物部ゆず」のブランド力の向上 ○地理的表示（GI）保護制度活用による訴求力向上 ○産地PR動画の作成支援 3 生産向上対策 ○青果生産量の確保 ・技術情報誌「ゆず便り」の全戸配布による栽培技術指導 ・工科大学の収穫体験活動を労働力確保につなげる	2 流通、販売上の対策 (1) 冬至玉出荷予測方法の検討 ・前年の出荷予測個票と実測値の誤差を調査（5月） ・出荷予測個票の配布（10月） (2) 集出荷場の整備・作業効率の向上 ○冬至玉出荷作業の効率化のため、レーンの見直し（11月） (3) 「物部ゆず」のブランド力の向上 ○地理的表示（GI）保護制度活用による訴求力向上 ・出荷容器へのGI表示開始（8月末） ・産地PR動画の作成支援（2月末完成） 3 生産向上対策 ○青果生産量の確保 ・技術情報誌「ゆず便り」の全戸配布による栽培技術指導（10回） ・工科大学と連携して、4名の生産者のもとで収穫体験活動を実施（11月：6回 延べ32人）	709t (H30～R3 園芸年度の平均値) ・R3目標達成率：93.3% ・対前年同期比：94.5%	B (成果) ・出荷予測の誤差が大幅に改善された（16%→0.4%） ・作業の停滞による選果機の緊急停止の大幅減少 ・P R動画の完成により、産地の情報発信に活用できるツールができた ・「ゆず便り」が適期防除につながり、アザミワミ類の被害が低減された ・収穫体験受け入れによる労働力の補填ができた。1名を体験活動からアルバイト（6人役）へと結びつけた (課題) ・収穫労働力の安定確保 (今後の方向性) ・基本技術の徹底、計画的な新植、改植等による青果ゴズの確保 ・園地の流動化などによる生産規模の維持・確保	770t (R元～4平均)	2 流通、販売上の対策 ・冬至玉出荷予測のデータ解析に基づく個票作成指導 ・集出荷場のカイゼン項目の検討・実践、検証 3 生産向上対策 ・青果率向上技術の指導 ・担い手への園地集積に向けた園地台帳作成 ・収穫期の労働力確保支援（収穫体験活動）		

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
農業	5「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上（南国市） 【実施主体】 ◎・(株)なの工房 ◎・畑の食堂Copan ・JA高知県（土長地区長岡支所）	直販所等の 売上高 1億2,533 万円 (H30)	1億1,536 万円	1億 1,192万 円	1億 3,740万 円	1億 3,740万 円	【株なの工房】 1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み ・(株)なの工房株主総会の開催（7月） ・リーダー会開催 2 来客増に向けた取り組み ・SNSでの旬の商品の紹介 ・POP、店舗陳列に関するアドバイザー導入 【畑の食堂Copan】 1 来客増に向けた取り組み ・旬の農産物を使ったメニュー・加工品の提供 ・SNSを活用した情報発信 ・ディップソースの取引先の拡大 ・キッチンレーラーの導入と活用	【株なの工房】 1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み ・(株)なの工房株主総会の開催（7/7） ・リーダー会開催 7回（4/28、5/26、6/30、7/28、10/29、11/24、1/26） 2 来客増に向けた取り組み ・SNSでの旬の商品の紹介：184回 ・POP、店舗陳列に関するアドバイザー導入（6/26） 【畑の食堂Copan】 1 来客増に向けた取り組み ・旬の農産物を使ったメニュー・加工品の提供（生姜ペース、冷製おでん、ニラ醬） ・SNSを活用した情報発信：532回 ・ディップソースの取引先の拡大：20店舗 ・キッチンレーラーの導入と活用（R4.1）、活用開始（R4.3～）	1億529万円 ・R3目標達成率：76.6% ・対前年比：94.1%	C 【株なの工房】 (成果) ・SNSでの積極的な発信やPOP、陳列の工夫を実践できるようになった。 (課題) ・生産者の高齢化、高知市内の直売所への出荷が増えたことによる出荷減 (今後の方向性) ・引き続き生産者に出荷を多くしてもらうよう促す。 ・委託販売手数料の引き上げを含めた赤字の解消を検討。 【畑の食堂Copan】 (成果) ・ディップソースの取引先の拡大 (課題) ・導入したキッチンレーラーの活用 (今後の方向性) ・取組の継続	1億 3,740万 円	【株なの工房】 1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み ・(株)なの工房株主総会の開催 ・リーダー会開催 2 来客増に向けた取り組み ・SNSでの旬の商品の紹介 ・POP、店舗陳列の工夫の実践継続 【畑の食堂Copan】 1 来客増に向けた取り組み ・旬の農産物を使ったメニュー・加工品の提供 ・SNSを活用した情報発信の継続 ・ディップソースの取引先の拡大	
							6「ごめんケンカジャモ」のブランド化の取り組み（南国市） 【実施主体】 ◎・企業組合ごめんジャモ研究会 ・南国市商工会 ・南国市	売上高 5,178万円 (H30)	5,016万 円				2,140万 円
	飼育羽数 2,341羽 (H30)	2,063羽	1,638羽	2,736羽	3,000羽			1,062羽 ・R3目標達成率：38.8% ・対前年比：64.8%	D	2,868羽			

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
林業	7 物部川地域の民有林 における原木の増産（物 部川地域全域） 【実施主体】 ◎・香美森林組合 ◎・物部森林組合 ◎・林業事業者等	原木生産 量 50,678m ³ (H30)	54,138m ³	43,670m ³	53,700m ³	56,880m ³	1 事業地の拡大 ・森の工場の継続・新規拡大 ・森林経営管理制度による事業地の 拡大 2 生産性の向上 ・生産性の高い作業システム活用促進 3 担い手の確保 ・事業管理を担当する職員の確保	1 事業地の拡大 ・境界明確化 【香美森林組合】80ha（香美市）、40ha（香南市） 【物部森林組合】30ha（香美市） 2 生産性の向上 【香美森林組合】 ・プロセッサ導入 ・オートチョーカー工程調査実施（12/23） ・マックスワルド搬器工程調査実施（2/2～4） 3 担い手の確保 【香美森林組合】 ・プランナー研修参加（5回）	45,342m ³ ・R3目標達成率：84.4% ・対前年比：103.8%	C (成果) ・森の工場拡大 （黒滝地区 87.56ha、長者ヶ森地区 35.59ha） ・森の工場更新（美良布・岩改・萩野 地区 1,521ha） (課題) ・素材生産量の確保に向けた事業地の 確保 ・高性能機械導入等による生産性向上 のさらなる推進 ・林業従事者の確保 (今後の方向性) ・高性能林業機械を計画的に導入して 生産性の向上を図る	55,300 m ³	1 事業地の拡大 ・森の工場の継続・新規拡大 ・森林経営管理制度による事業地の 拡大 2 生産性の向上 ・生産性の高い作業システム活用促進 3 担い手の確保 ・事業管理を担当する職員の確保	
漁業	8 シイラ等の水産物加 工による外商の拡大 （香南市） 【実施主体】 ◎・高知県漁業協同組 合手結支所 ・香南市 ・（一社）香南市観光協 会	水産品の販 売額 4,939万円 (H28～30 平均)	4,894万 円	4,055万 円	5,200万 円	5,400万 円	1 販売事業の拡大 ・販路維持・拡大に向けた営業活動 2 販売形態の拡充 ・一次加工による商品ラインナップ拡 充対策 3 認知度の向上 ・地元におけるPR体制づくり ・知名度向上に向けた情報発信 （プロモーション活動）	1 販売事業の拡大 ・県内外の取引先との取引の継続 ・地元給食センターへ食材を販売（17回） ・新たに4社との取引を開始 2 販売形態の拡充 ・自動真空包装機の導入及び活用した商品の生産 3 認知度の向上 ・量販店店内での広報によるPRの実施	販売額：3,615万円 ・R3目標達成率：69.5% ・対前年同期比：89.2%	D (成果) ・自動真空包装機の導入による商品ラ インナップ拡充 ・新たな取引先の確保 (課題) ・シイラ不漁への備え ・販売体制の強化（人員の確保） (今後の方向性) ・販路維持・拡大に向けた営業活動 の継続 ・シイラ以外の魚種の販路の拡大 ・人員の確保による販売体制の強化	5,300万 円	1 販売事業の拡大 ・販路維持・拡大に向けた営業活動 2 販売形態の拡充 ・人員の確保による販売体制の強化 3 認知度の向上 ・知名度向上に向けた情報発信 （プロモーション活動）	
商工業	11 高知県産ワインの生 産拡大及びブランド化の 推進 （南国市、香南市） 【実施主体】 ◎・井上ワイナリー(株) ・井上石灰工業(株) ・南国市 ・香南市	商品売上 高 1,057万円 (H30)	647万円	824万円	1,404万 円	5,912万 円	1 栽培面積の拡大 ・県内市町村と連携したほ場の拡大 2 醸造・生産体制の確立 ・醸造体制の確立 ・ワイナリープレオープン（3月） 3 ブランドの確立 ・認知度向上と個人顧客の獲得 4 他の事業者との連携 ・様々なグロサリー商品の開発、販売 ・自社ECサイトの運営	1 栽培面積の拡大 ・他の市町村への栽培検討の打診 2 醸造・生産体制の確立 ・新規雇用（契約社員1、アルバイト2） ・醸造開始（8月）→ヌーボー販売（10月） ・貯蔵庫等の整備 3 ブランドの確立 ・会員以外への販売を開始 ・城西館のコラボによるワインとオードブルのセット販売 4 他の事業者との連携 ・ワインを使ったスイーツやワインに合うグロサリー商品の開発 ・ECサイト稼働（4月）、リニューアル（9月） →ワイン、グロサリー商品、地域の特産品等の販売	1,466万円 ・R3目標達成率：104.5% ・対前年比：177.9% ※ほ場の拡大により前年度に 比べ葡萄の収穫量が増えワイン の生産本数が増えたため ※前年度は会員限定で商品 を販売していたが、ECサイトや 小売店舗等で会員以外への 販売を開始したため	A (成果) ・R4.4のグランドオープンに向けた施設整 備、グロサリー商品の開発が着実に進ん でいる (課題) ・ワインの生産量増に向けたほ場の確保 (今後の方向性) ・ほ場の確保に向けて各市町村へのセー ルス ・新商品ワインの開発 ・他の観光施設とのコラボして観光誘客 の推進	3,713万 円	1 栽培面積の拡大 ・県内市町村と連携したほ場の拡大、 収量の増大 2 醸造・生産体制の確立 ・醸造所の安定的な運営 ・グランドオープン（4月） 3 ブランドの確立 ・認知度向上と個人顧客の獲得 4 他の事業者との連携 ・様々なグロサリー商品の開発、販売	

分野	【P (Plan)】					【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出发点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商 工 業	10 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 （南国市） 【実施主体】 ◎・南国市 ◎・南国市商工会 ◎・(株)海洋堂高知 ・南国市中心市街地振興協議会	エリア内の売上高 11億5,569万円 (R2)	-	11億5,569万円	11億8,921万円	12億5,624万円	1 中心市街地の賑わい創出 ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定 ・中心市街地振興協議会における計画の進捗管理	1 中心市街地の賑わい創出 ・5めんピンゴスタンプラリーの実施（3月～10月）及び効果検証（11月） ・ものづくりアリエteteの移転オープン及びワークショップの開催（4月～） ・南国市中心市街地振興協議会の開催（7月）	-（調査中）	-	（成果） ・5めんピンゴスタンプラリーの効果検証の結果、地域にお金が落ちる仕組みづくりの構築が図れた ・チャレンジショップ開業に向けた準備が進んでいる ・拠点施設の入場者数が目標を大幅に上回っており、中心市街地への誘客促進が図られている	12億2,272万円	1 中心市街地の賑わい創出 ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定 ・中心市街地振興協議会における計画の進捗管理
		新規出店数 0件 (H30)	-	0件	6件 (R2～3累計)	12件 (R2～5累計)	2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・地域資源を生かしたイベントの実施 ・空き店舗調査の実施 ・チャレンジショップ事業の検討及び推進 3 拠点施設の整備・運営等 ・定期的なイベントの開催 ・施設への入込客数増に向けた取り組み ・来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり	2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ・ごめんteteマルシェの開催（10月、3月） ・空き店舗調査の実施（10件） ・チャレンジショップ事業に関する関係者協議（13回） ・チャレンジショップの改修（12月～3月） ・チャレンジショップ出店者募集（R4.3～4月）	0件	D	（課題） ・5めんピンゴスタンプラリーの運用ルールが複雑だったことによる参加店舗の負担増 ・チャレンジショップの円滑な運営 ・拠点施設入場者の中心市街地への周遊を促す仕組みづくり （今後の方向性） ・より良い中心市街地の周遊促進策の検討 ・商工会による出店者支援、チャレンジショップ運営に係る協議会（月1回程度開催）による進捗管理 ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施	9件 (R2～4累計)	・地域資源を生かしたイベントの実施（ごめんteteマルシェ、地産地消ごめんの軽トラ市、ごめん・なはり線20周年記念イベント等） ・空き店舗調査の実施 ・チャレンジショップの円滑な運営 ・チャレンジ期間終了後の出店支援 3 拠点施設の整備・運営等 ・定期的なイベントの開催 ・施設への入込客数増に向けた取り組み ・来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施
		拠点施設の入場者数 0人 (H30)	-	8,428人	33,000人	33,000人		3 拠点施設の整備・運営等 ・ものづくりサポートセンターにおける企画展（6回・10,083人）及びものづくりワークショップの開催（3,937人） ・ウルトラポストカードラリーへの参画（7月～R4.5月）	72,765人 ・R3目標達成率：220.5% ・対前年同期比：863.4% （R3.3.21拠点施設オープン） ※R3.3.21拠点施設オープンのため。	S	33,000人		

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商工業	11 ヤ・シバークを核とする地域の活性化の推進 (香南市) 【実施主体】 ◎・(株)ヤ・シバ ・香南市	加工所兼 店舗の売上 高 2,687万円 (H30)	2,654万 円	1,817万 円	5,503万 円	5,587万 円	1 売上アップに向けた取り組みの強化 (1) 内部の体制強化 ・新商品開発 ・アイスパークの生産体制の強化 (2) 店舗の周知 ・イベントへの出店・出品 ・情報発信 ・自主イベントの開催 (3) 外販の強化 ・商談会への出展 ・個別商談による販路拡大 2 ヤ・シバークを核とした地域の活性化の取り組み (1) パーク整備方針の検討 ・コアメンバー協議、活性化推進協議会の開催 ・パーク整備関係の予算化 ・レンタサイクル施設の整備着手 ・レンタサイクル事業開始 (2) 観光拠点化に向けた運営体制の確立 ・YASU海の駅クラブとの連携やサイクリング事業等によるにぎわいづくり ・ユニバーサルビーチへの取り組み	1 売上アップに向けた取り組みの強化 (1) 内部体制強化 ・新商品開発 シーズンメニュー 3商品 新メニュー (レギュラーメニュー化) 1商品 ・イベントへの出店・出品 1回 (2) 店舗の周知 ・情報発信 TVでの放送 2回 新聞への掲載 1回 雑誌への掲載 1回 ・自主イベントの開催 沖縄フェア 限定メニュー3商品の提供 (8~10月) 5周年フェア 限定メニュー2商品の提供 (10/16~23) クリスマスフェア 限定メニュー1商品の提供 (12/11~25) (3) 外販の強化 ・商談会への出展 1回 (高知県産品商談会) ・新規成約 8件	2,237万円 ・R3目標達成率：40.7% ・対前年比：123.1% ※新規の取引先 (外販) が 増えたことによる売上の増	D (成果) ・毎年商談会への出展や個別商談による営業努力で外販の売上が向上した。 (対前年比157.2%) (課題) ・コロナ禍により大幅減となっている店舗売上のアップ ・外販の売上増に対応するためのアイスパークの生産効率の向上 (今後の方向性) ・引き続き外販の拡大 ・アイスパークの生産効率の向上	5,544万 円	1 売上アップに向けた取り組みの強化 (1) 内部の体制強化 ・新商品開発 ・アイスパークの生産体制の強化及び生産効率の向上 (2) 店舗の周知 ・イベントへの出店・出品 ・情報発信 ・自主イベントの開催 (3) 外販の強化 ・商談会への出展 ・個別商談による販路拡大 2 ヤ・シバークを核とした地域の活性化の取り組み (1) パーク整備方針の検討 ・ソフト事業及びソフト事業実施に伴い必要となるハード整備の整理 ・パーク整備関係の予算化	
									25.7万人 ・R3目標達成率：88.2% ・対前年比：95.9% ・レンタサイクル事業の整備 道の駅やす観光サイクリング拠点整備 高知県観光振興推進総合支援事業費補助金の活用 (2) 観光拠点化に向けた運営体制の確立 ・ユニバーサルビーチへの取り組み 四国初のユニバーサルビーチプロジェクト「ヤ・シバークで海遊びを楽しもう」の実施 (7/17、7/31)				(成果) ・ヤ・シバークでソフト事業の検討
商工業	12 香南市における特産品づくりと販売の促進 (香南市) 【実施主体】 ◎・(一社)香南市観光協会 ・香南市内の事業者 ・香南市	物産品の売上 高 1億1,975 万円 (H30)	1億4,550 万円	1億 6,966万 円	1億 1,460万 円	1億 2,500万 円	1 地場産品の開発、販売促進 ・新規参加事業所増の取組 ・取扱商品増の取組 ・季節商品の取組 2 地場産品のPR ・ECサイトのリニューアル ・イベントでの特産品販売・PR ・新ギフトカタログ発行 ・ふるさと納税のカタログ発行	1 地場産品の開発、販売促進 ・カタログ・WEBサイト販売 新規参加事業者 2社 ・ふるさと応援寄附金 新規参加事業者 6社 季節商品 33商品 2 地場産品のPR ・イベントでの特産品販売PR 19回 ・イベント等の記念品としての特産品の納品 9回 ・土佐香南まるごと旨市カタログ2021-2022 1万部発行(10月) ・香南市ふるさと応援寄附金記念品カタログ『香南日和』 3千部発行 (10月) ・新ECサイトのカテゴリー分けやデザイン確定 (3月)	1億467万円 ・R3目標達成率：91.3% ・対前年比：61.7% ※コロナ禍に伴う、お取り寄せ 需要が一定落ち着いたことや 柑橘類の不作等から売上が 減少したと思われる。	B (成果) ・コロナ禍の中でも感染防止対策を行い、イベントには積極的に参加し、特産品のPRを行った。 (課題) ・特産品 (カタログ商品) の認知度向上 (今後の方向性) ・広報の強化	1億 1,980万 円	1 地場産品の開発、販売促進 ・新規参加事業所増の取組 ・取扱商品増の取組 ・季節商品の取組 2 地場産品のPR ・ECサイトの効果的な運用 ・イベントでの特産品販売・PR ・新ギフトカタログ発行 ・ふるさと納税のカタログ発行	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商工業	13 野市町中心商店街の振興（香南市） 【実施主体】 ◎・香南市 ◎・香南市商工会	空き店舗等 を活用した 新規開業 数 0件 (H30)	0件	0件	4件 (R2～3 累計)	8件 (R2～5 累計)	1 空き店舗対策 ・空き店舗実態調査等の実施 ・空き店舗解消に向けた取り組みの推 進 2 運営体制の確立 ・商店街等振興計画の策定 ・商店街振興計画の推進	1 空き店舗対策 ・空き店舗実態調査の実施（4月～3月） ・香南市空き店舗対策事業費補助金の要件拡充（4月） 2 運営体制の確立 ・中心商店街振興協議会設置に向けた香南市、県の打合せ (4/15) ・商工会と市での打合せ（商店街振興計画関係） (12/14) ・中心市街地活性化協議会・WG開催に向けた打合 (1/31)（市・商工会・田村アドバイザー・県経営支援課、 物部川地域本部）	0件 ・R3目標達成率：0% ・対前年同期比：-%	D (成果) ・野市、吉川の空き店舗実態調査が完 了した。 (課題) ・運営体制の確立 (今後の方向性) ・商店街振興計画策定に向けた協議会 の設置及びWGメンバーの選定	6件 (R2～4 累計)	1 空き店舗対策 ・空き店舗実態調査等の実施 ・空き店舗解消に向けた取り組みの推 進 2 運営体制の確立 ・商店街等振興計画の策定 ・商店街振興計画の推進	
商工業	14 香美市における特産品づくりと販売の促進（香美市） 【実施主体】 ◎・(一社)香美市観光協会 ・香美市内の事業者 ・香美市	特産品の売上高 6,380万円 (取り扱い 開始から H30までの 平均)	7,536万 円	6,164万 円	7,000万 円	7,600万 円	1 特産品の開発 ・6次産業化セミナー参加 ・各施策を活用した特産品開発 2 販売促進 ・インターネット販売の取り扱い品目の 増大、売上向上 ・ふるさと納税返礼品の取り扱い品目 の増大 ・高知県産品商談会に参加（6月） ・れんげいごうち地場産品販路拡大推 進事業、れんげいごうち圏域事業者販 売等支援事業 →商談会、見本市等への出店 ・日曜日出店 3 経営安定化・後継者育成 ・HACCP研修受講 ・商工会と連携した事業計画の作成 ・各種セミナーの受講 ・移住促進。人材確保センターの活用	1 特産品の開発 ・香美市の芋を使った「高系芋焼酎 神池」の高系芋栽培講 習会（6、11月） ・香美市ものづくり会議 物部川ブランド分科会（6月） ・香美市産ゆず新メニュー審査会（7月） ・大丸須磨店2021プロモーション高知県フェアへの出店 (7月) ・「高系芋焼酎 神池」の原材料芋収穫（11月）、焼酎の 仕込み（12月） ・フラフバッグの量販店販売（11月～） ・高系芋の量販店販売開始（R4.1月～） 2 販売促進 ・れんげいごうち地場産品販路拡大推進事業 TSUNAGUマーケットinイオン高知（6月） 出店事業者：香美市観光協会（べふ峡温泉）、 にろうまいこ（美良布地区集落活動センター部会） ・日曜日出店（4、5、8、10、11、12月、R4.2月） 出店事業者：にろうまいこ（8回）、土佐龍馬の里 (4回) 松原ミート（1回） ・「集マルシェ」への出店（10月、3月） 出店事業者：むすぶ (美良布地区集落活動センター部会) ・金高堂前での出店販売（5、8、12月、R4.1月） 出店事業者：にろうまいこ、むすぶ	5,049万円 ・R3目標達成率：72.1% ・対前年比：81.9%	C (成果) ・見本市、日曜日への出店等による特 産品のPR・販路拡大 (課題) ・R2年度のふるさと納税寄附額の見直し による寄附の申込の減少 ・新型コロナの影響による商談会等への 参加機会の減少 (今後の方向性) ・商談会、見本市等への参加による販 路拡大 ・事業者のHACCP取得による販路拡大	7,300万 円	1 特産品の開発 ・6次産業化セミナー参加 ・各施策を活用した特産品開発 2 販売促進 ・インターネット販売の取り扱い品目 の増大、売上向上 ・ふるさと納税返礼品の取り扱い品目 の増大 ・商談会、見本市等への参加 3 経営安定化・後継者育成 ・HACCP研修受講 ・商工会と連携した事業計画の作成 ・各種セミナーの受講 ・移住促進。人材確保センターの活用	
		取扱商品 数 194品目 (H30)	222品目	214品目	198品目	200品目		246品目 ・R3目標達成率：124.2% ・対前年同期比：115.0%	S		199品目		

分野	【P (Plan)】					【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商工業	15 香美市の伝統産業（土佐打刃物、フーフ）の振興（香美市） 【実施主体】 ◎・高知県土佐打刃物連合協同組合 ◎・フーフ製造業者 ・香美市商工会 ・(一社)香美市観光協会 ・香美市	創生塾入塾者数 3名 (R元)	3名	3名	6名 (R2～3 累計)	9名 (R2～5 累計)	1 人材育成 ・鍛冶屋創生塾における人材育成 ・鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の場の確保 2 伝統的工艺品等の普及及び販売促進、認知度向上 ・土佐打刃物・フーフの普及促進 ・土佐打刃物・フーフの新たな販路開拓	1 人材育成 ・2期生入塾式（5月）、1期生卒塾（10月） ・1期生卒塾後の進路：新規就業2名、創生塾講師1名（包丁、鉋、鎌の製造） 2 伝統工艺品等の普及及び販売促進、認知度向上 <フーフ> ・市内各所でのフーフの掲揚（4～5月） ・土佐打刃物・フーフの掲載（2回） ・県立施設等での展示（常設：2箇所 期間限定：2箇所） ・フーフエコバックの展示（R3.3月～ 市役所1F） ・土佐山田フーフのある風景フォトコンテストの実施（応募58作品）（4～5月）、表彰式（7月）、市内各所で作品展示（8～3月） <土佐打刃物> ・ふるさと納税返礼品取り扱いによる販売促進：刃物568件、商品代12,934千円	6名	A (成果) ・入塾生（1期生、2期生各3名）の確保ができた。 ・1期生（3名）のうち、2名は新規就業者。1名は創生塾講師補助。 (課題) ・鍛冶屋創生塾卒業生の就労先や研鑽の場の確保。 ・フーフを活用した新商品の開発。 ・土佐打刃物及びフーフの新たな販路開拓。	6名 (R2～4 累計)	1 人材育成 ・鍛冶屋創生塾における2期生の育成及び3期生の募集 ・鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の場の確保 2 伝統的工艺品等の普及及び販売促進、認知度向上 ・土佐打刃物・フーフの普及促進 ・土佐打刃物・フーフの新たな販路開拓	
									※昨年度は1期生のみであったため				A (今後の方向性) ・土佐打刃物連合協同組合を中心に、卒業生の就労先や研鑽の場の確保。 ・他業者とのコラボによる新商品開発への取り組み。 ・販売先の確保や販路開拓を進めるため、県内外の展示会や商談会への出席。
商工業	16 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化（香美市） 【実施主体】 ◎・えびす街協同組合 ・香美市商工会 ・香美市	空き店舗を活用した新規開業数 3件 (H30)	4件	4件	8件 (R2～3 累計)	16件 (R2～5 累計)	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1) 空き店舗調査の実施 (2) 「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営 (3) 空き店舗を活用した新規開業支援	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1) 空き店舗調査の実施 ・空き店舗調査の実施（3日/週） ・空き店舗の情報収集・情報提供：10件 (2) 「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営 ・チャレンジショップ運営委員会の開催：12回 ・SNS等による情報発信（出店者の確保やイベント情報の発信） ・チャレンジャーへの経営指導、アドバイス（商工会） ・香美市商店街等振興計画推進事業費補助金（チャレンジショップ事業）（香美市） ・香美市中心商店街活性化協議会開催 (3) 空き店舗を活用した新規開業支援 ・香美市商工観光振興事業費補助金（空き店舗等利活用助成事業）交付決定（市→商工会） ・開業時のアドバイスの実施（商工会）15事業者（相談件数19件）	6件	C (成果) ・ふらっと中町の運営に係る人員として継続した雇用創出につながった。（1名） ・チャレンジショップ入居数3店舗を確保した。 (課題) ・空き物件が少なく、チャレンジショップ卒業後の市内での開業が難しい。 ・チャレンジショップ出店者の獲得。 (今後の方向性) ・香美市内での開業に向けた物件探しを支援する。 ・チラシやSNSで継続して情報発信をする。	12件 (R2～4 累計)	1 商店街を含む地域の活性化策の推進 (1) 空き店舗調査の実施 (2) 「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営、チャレンジャーの獲得及び支援 (3) 空き店舗を活用した新規開業支援、香美市中心商店街活性化計画の見直し	
									※空き物件が少なく市内での開業につながらなかった。				

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
工業	17 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売（香美市） 【実施主体】 ◎・(同)高知カンパニーブルワリー ・香美市商工会 ・香美市	クラフトビールの売上高 1,805万円 (H30)	2,920万円	3,210万円	3,000万円	4,100万円	1 生産体制の構築 ・設備投資計画の策定 ・設備投資、増産体制の確立 ・雇用の創出 2 積極的な地産外商の推進 ・戦略的なPR、フェアやイベントへの積極的な出店、ブランドの確立 ・新たな商品開発 ・県版HACCPの認証取得 3 地元商店街のにぎわい創出 ・地元イベントへの出店、商店街との連携 ・地域食材を活用したご当地グルメ	1 生産体制の構築 ・国庫補助を活用した増産に向けた設備整備 2 積極的な地産外商の推進 ・商品内訳（R3年度に販売した商品） （定番 5品、季節限定 5品、地域限定 6品） ・フェアやイベントへの出店 2回（高知市4月、土佐市5月） ・ブランドの確立（第4回 四国アライアンスビジネスプランコンテスト 最優秀賞5月） 3 地元商店街のにぎわい創出 ・ゆるゆる市へ出店（R4.1） →コロナの感染拡大により酒類の提供中止が決まり出店取り止め	4,032万円 ・R3目標達成率：134.4% ・対前年比：125.6% ※コロナ禍の影響により、インターネットサイトを通じた個人への売上げが増加。また、地域限定商品や期間限定商品を戦略的に発表することで、新規顧客の獲得につながったため。	(成果) ・コロナ禍にも関わらず、インターネット販売が好調で目標を上回る販売額を達成した。 (課題) ・工場移転に向けた手続き及びスケジュール管理 ・生産体制強化 (今後の方向性) ・市、商工会等と連携し移転支援を進める。 ・活用可能な補助金情報など、各支援策の紹介	3,500万円	1 生産体制の構築 ・建築、設備整備の進捗管理 ・増産体制の確立 ・雇用の創出 2 積極的な地産外商の推進 ・戦略的なPR、フェアやイベントへの積極的な出店、ブランドの確立 ・新たな商品開発 ・新工場の県版HACCPの認証取得 ・新工場を活用したPRイベントの実施 3 地元商店街のにぎわい創出 ・地元イベントへの出店、商店街との連携 ・地域食材を活用したご当地グルメ	
	18 物部川地域における広域観光の推進（物部川地域全域） 【実施主体】 ◎・(一社)物部川DMO協議会 ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)香南市観光協会 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)ものべみらい観光事業者	主要観光施設入込数(9施設) 70.7万人 (H30)	74.1万人	46.1万人	81.5万人	89.8万人	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・滞在型観光プランの磨き上げ 2 観光商品の充実、観光客の広域誘致 ・エリア内観光素材の調査 ・体験プログラム素材の掘り起こし ・土佐の観光創生塾の受講支援 ・ファミリー層向け広域観光パンフレット「とりせつ」の作成 ・物部川エリア版「ことりっぶ」発行、SNSの構築 ・ビッグデータを活用したエリア内観光動態調査の実施 3 地域連携による周遊促進 ・活用可能な観光商品の開発 ・ものべSSS認証制度の活用 4 広域観光組織体制の充実・整備 ・登録DMO登録	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・滞在型観光プランの磨き上げ ・観光地域づくり推進員の採用 ・エリア内観光関係施設でのアンケート調査 ・観光振興に関するトップ意見交換会（3市長会） ・中期計画（R4～R6）の策定 ・登録DMO登録（R4.3） 2 観光商品の充実、観光客の広域誘致 ・ゆずレンビ審査会の開催 ・バリアフリー観光の周知及び促進のための「四国初のユニバーサルピーチプロジェクト」の開催 ・神戸須磨大丸2021プロモーション高知県フェアへの出展 ・スペースファクトリー南国を組合わせた周遊プログラムの作成 ・バリアフリー対応実地調査 ・土佐の観光創生塾による旅行商品の造成・磨き上げ ・ファミリー層向け広域観光パンフレット「とりせつ」の刷新 ・物部川エリア版「ことりっぶ」発行、SNSの構築 ・バーチャルツアーショッピングサイトの開設 ・「100年フード宣言」認定（文化庁） ・高知県観光説明会（高知県観光コンベンション協会） ・クルーズ船商談会（港湾振興課主催） ・四国観光商談会（四国ツーリズム創造機構主催） 3 地域連携による周遊促進 ・南国市ものづくりサポートセンターのオープニング記念に伴うガチャ祭りの開催 ・ものべSSS認証制度の推進 ・JR観光列車「時代の夜明けのものがたり」の停車駅でのおもてなし 14回 ・長宗我部フェスへの出展 ・修学旅行担当者を対象としたオンラインツアーの開催 4 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・エリア研修として「塩の道30キロお〜く」を実施 ・観光地域づくり推進員の採用	58.6万人 主要観光施設入込数（9施設） 達成率：72.0% 対前年比：127.2% ※昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休館等した施設があったため	(成果) ・物部川地域3市の行政機関、関係機関が役割分担の明確化を図り協働することによる連携体制の整備及び運用を進めている ・関係部署との情報共有等によるPR (課題) ・持続的な広域観光の推進 (今後の方向性) ・事務局体制の強化	85.5万人	1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・滞在型観光プラン整備計画の磨き上げ及び滞在型観光プランの策定 ・エリア内観光関係施設でのアンケート調査 ・観光振興に関するトップ意見交換会 2 観光商品の充実、観光客の広域誘致 ・土佐の観光創生塾による旅行商品の造成・磨き上げ ・商談会への参加 ・教育旅行セールスへの参加 3 地域連携による周遊促進 ・SSS認証制度に基づいた受入体制づくり 4 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・研修への参加 ・県事業を活用したワークショップへの参加	

分野	【P (Plan)】					【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	19 南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市) 【実施主体】 ◎・(一社)南国市観光協会 ・南国市 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ ※地域産業クラスター関連(南国市農業クラスタープロジェクト)	主要観光施設入込数 46.9万人(H30) ※1～12月	46.4万人	29.2万人	52.2万人	55.0万人	1 観光の推進 ・観光メニューづくり・ブラッシュアップ ・観光案内人の実践、研修 ・移動販売車を用いた観光、特産品のPR ・観光施設連絡会の開催 2 観光協会の体制強化 ・新規会員の掘り起こし	1 観光の推進 ・ものべエリア「ガチャまつり」の実施(3～4月) ・5めんピンゴスタンブラーの実施(3～10月) ・特典付きグルメパンフレットの配布(3～5月) ・長宗我部フェスの開催(11月) ・土佐の観光創生塾の受講→オンラインによる体験プランの販売開始(12月～) ・県地域の頑張る人づくり事業費補助金を活用した後免観光ガイド養成講座の実施(11～R4.1月) ・移動販売車を活用したイベント出店による観光、特産品のPR(6回) ・地域の特産品を活用した新メニュー(イチゴのパターチンカレー)開発及び移動販売車での販売 ・観光施設連絡会の開催(6月) 2 観光協会の体制強化 ・新規会員の確保(新規14人)	38.8万人 ・R3目標達成率：74.3% ・対前年比：132.8% ※ものづくりサポートセンターの開館による ※西島園芸団地については、R2.8月に入込数の数え方を見直した(買物のみの来場者を新たに調査対象として追加)ため増加(見直し前の入込数では前年並み)	C (成果) ・オンライン販売により、体験プランの申込・対応がスムーズになった ・新たなガイドの確保が進みつつある ・ものづくりサポートセンター隣接広場に出店することで、多くの県内外観光客への観光情報発信ができた (課題) ・新型コロナウイルスの影響による未実施分のガイド養成講座への対応 ・新型コロナウイルスの影響による集客が見込めずイベント中止に伴う移動販売車を活用したPR不足 (今後の方向性) ・次年度当初に未実施分のガイド養成講座を開催 ・イベント以外の集客力のある催事等への移動販売車による出店の検討	53.6万人	1 観光の推進 ・観光メニューづくり・ブラッシュアップ ・観光案内人の実践、研修(モニターツアーの実施等) ・移動販売車を用いた観光、特産品のPR ・観光施設連絡会の開催 2 観光協会の体制強化 ・新規会員の掘り起こし	
	20 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市) 【実施主体】 ◎・(株)西島園芸団地 ・南国市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)物部川IDMO協議会 ・南国市観光施設連絡会	観光客入込数 106,191人(R元) ※1～12月 年間売上額 3億2,672万円(R元) ※8～7月	106,191人	64,789人	60,000人	100,000人	1 体制強化 ・OJTによる人材の確保・育成(通年) ・事業計画策定に関する打合せ(4/14、28、5/19、11/18、29、3/23) ・六次産業化セミナー実践コースの成果報告(1/27) ・全体アドバイザーへの相談(6/8、11/4) 2 全体コンセプトの構成とリブランディング ・事業計画策定と運動したコンセプトの構築(4～9月) ・施設改修にかかる打合せ(9～3月) 3 新商品の開発 ・新商品の開発に向けた補助金申請(4月) ・新商品開発に向けた協議(4～6月) ・新商品発売(7月) ・既存商品のパッケージデザイン変更の検討(7～9月) ・既存商品のパッケージデザイン変更のための補助金申請(10月)	1 体制強化 ・OJTによる人材の確保・育成(通年) ・事業計画策定に関する打合せ(4/14、28、5/19、11/18、29、3/23) ・六次産業化セミナー実践コースの成果報告(1/27) ・全体アドバイザーへの相談(6/8、11/4) 2 全体コンセプトの構成とリブランディング ・ロゴデザインに関する打合せ(5/13、6/25、7/8、1/31) ・月例会での方向性確認(6/29) ・通販サイトに関する打合せ(4/16、5/13) ・施設改修にかかる西島園芸団地との打合せ(7/21、8/6、31、9/6、10/7) ・施設改修にかかる内部打合せ(10/6、11) ・レイアウト変更等にかかる課題一貫支援アドバイザーの活用(9/13、24、2/7、3/30) ・LINE公式アカウントに関する打合せ(2/4、3/2、16) 3 新商品の開発 ・県の制度を活用したHACCPの専門家派遣(4/26) ・新商品の開発に向けたOEM先との打合せ(4/9、5/21) ・すいかパンの発売(7/2～) ・六次産業化セミナー実践コースの受講(7/8、8/5、10/26、11/19、12/3) ・新商品のパッケージ制作及び既存商品のパッケージリニューアル等(11～3月) ※県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 ・イチゴのパターチンカレーの発売(2/6～) ・高知県産品商談会へ参加(10/26)	95,852人 ・R3目標達成率：159.8% ・対前年比：147.9% ※8月～集計方法の変更のため。 旧集計方法：52,996人 旧集計方法時での対前年同期比：101.7% 3億883万円 ・R3目標達成率：97.1% ・対前年比：99.6%	S (成果) ・すいかパンの発売 ・イチゴのパターチンカレーの発売 ・通販サイトの改修 ・LINE公式アカウントの開設 ・イチゴ狩りWEB予約システムの導入 ・ロゴデザインの一新 ・販促資材の一新 (課題) ・加工場改修にかかる資金調達 ・複数事業を行っているとともに、部門ごとに分かれているため、事業計画の策定が困難。 (今後の方向性) ・事業計画策定の支援を引き続き行っていく。	80,000人	1 体制強化 ・OJTによる人材の確保・育成(通年) ・SWOT分析を踏まえた事業計画の策定(4～9月) 2 全体コンセプトの構成とリブランディング ・アドバイザーによるアドバイス(4～5月) ・アドバイスを踏まえたレイアウト変更(6～9月) 3 新商品の開発 ・各種商談会への参加(通年) ・自社加工場の県版HACCP対応(通年) ・新商品開発に向けた協議(通年)	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 (香南市) 【実施主体】 ◎・(一社)香南市観光協会 ・香南市 ・地域の体験メニュー等提供団体	主要観光施設入込数 106,0万人(H30) ※1～12月	104.5万人	90.7万人	110.0万人	117.0万人	1 旅行商品の造成と販売 ・体験メニューの掘り起こし、磨き上げ ・エージェントへのプロモーション活動、キャラバンへの参加 ・香南市観光施設連絡会の開催 2 地域の観光情報の発信 ・ホームページ、SNS、OTA等を活用した情報発信 ・地域の特産品やグルメ情報の発信 ・地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ・ポータルサイト等での情報発信 3 スポーツ・体験観光の推進 ・自転車を通じた観光客誘致と、香南市のPR、市内飲食店等の収入増につながるサイクルイベント・大会の実施 4 サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備 ・香南市自転車活用推進計画の策定 ・道の駅やす観光サイクリング拠点整備	1 旅行商品の造成と販売 ・体験メニューの掘り起こし、磨き上げ 土佐塩の道おーくの開催 (5/15) 体験メニュー掘り起こしに向けた打合せ・現場視察 2回 ・香南市観光施設連絡会の開催 (12/9、2/24) 2 地域観光情報の発信 ・ホームページ、SNS、OTA等を活用した情報発信 観光協会HP、instagram、Facebookの運用 観光協会YouTubeの開設 (7月) ・地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 明治安田生命レディスヨコハマタイガゴルフーナメント 香南市商工会青年部がこら塩焼きそばを販売 (3月) 3 スポーツ・体験観光の推進 ・サイクルイベントの開催 8回 参加者計181名 4 サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備 ・香南市自転車活用推進計画の策定 策定委員会 (8、10月) バブコム (10～11月) 計画の策定完了 (12月) ・道の駅やす観光サイクリング拠点整備 高知県観光振興推進総合支援事業費補助金の活用 レンタサイクル施設・駅前駐車場等整備	96.2万人 ・R3目標達成率：87.5% ・対前年比：106.0%	B (成果) ・新たな体験メニュー造成に向けた打合せ等が行われている。 ・SNS等を使った地域観光情報の発信が行われている。 (課題) ・体験メニュー等の旅行商品の企画・販売 (今後の方向性) ・観光施設関係者による観光素材の磨き上げと商品化	114.0万人	1 旅行商品の造成と販売 ・体験メニューの掘り起こし、磨き上げ ・エージェントへのプロモーション活動、キャラバンへの参加 ・香南市観光施設連絡会の開催 2 地域の観光情報の発信 ・ホームページ、SNS、OTA等を活用した情報発信 ・地域の特産品やグルメ情報の発信 ・地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ・ポータルサイト等での情報発信 3 スポーツ・体験観光の推進 ・自転車を通じた観光客誘致と、香南市のPR、市内飲食店等の収入増につながるサイクルイベント・大会の実施 4 サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備 ・サイクルサポーター制度の確立	
	参加人数(スポーツ・体験観光) 181人(H30)	188人	298人	720人	960人	181人 ・R3目標達成率：25.1% ・対前年比：60.7% ※4～9月及び2月に、コロナ禍でイベントが開催できなかったため。	D (成果) ・香南市自転車活用推進計画が策定され、求年度以降のサイクリング事業についての取組内容が固まった。 ・ヤ・シ広場にレンタサイクル施設が完成し、R4年度より運用が可能となった。 (課題) ・コロナ禍に対応したイベント実施 (今後の方向性) ・関係者間で情報共有を行い、感染状況に応じた対応を検討	840人					
23 香美市における滞在型・体験観光の推進 (香美市) 【実施主体】 ◎・(一社)香美市観光協会 ・香美市 ・(株)香北ふるさとみらい ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体	主要観光施設入込数 28.5万人(H30) ※1～12月	29.3万人	16.6万人	29.4万人	30.0万人	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・香美市観光協会における体験メニューの磨き上げ ・各観光施設における集客イベントの開催 2 観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進 ・「香美市観光ガイドの会」による観光ガイドの商品化、研修等の実施 ・周辺観光施設と連携したセールス活動の実施 ・HPや広報誌を活用した情報発信 1 体験型観光メニューづくりと推進 ・龍河洞：龍河洞冒険王、90周年イベント、ハロウィンイベント、クリスマスイベント、龍河洞サイト (9回) ・べふ峡温泉：べふ峡温泉シカニクフェア (4月) ・土佐塩の道30kmおーく (5月) ・アンパンミュージアム：香美市立やなせたかし記念館アンパンミュージアム開館25周年記念行事 (7月) ・松尾酒造のお酒を楽しむ会 (12月) ・香美を巡る体験博 かみめぐり (2～3月) 2 観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進 ・香美市に泊まるうキャンペーンの実施 (5～2月) ・香美市観光プレミアムチケット事業の実施 (R2.9～R3.5月) ・香美市観光ガイドの会/山田高校生へのガイド研修の実施 (6月) ・香美市ガイドの会/いの町ガイドくらぶ視察研修 (7月) ・土佐塩の塩の道ガイド研修 (9月) ・「ふらっと香美たび」の受付開始 (10月～) ・大荒の滝ガイド視察 (11月) ・やなせたかし記念館と香北町めぐり実地研修 (2月)		17.0万人 ・R3目標達成率：57.8% ・対前年比：102.6%	D (成果) ・各観光施設におけるイベントの実施による入込客数の増加(対前年比) ・新たな観光メニューの開発 (「ふらっと香美たび」) (課題) ・コロナ禍における集客効果の高いイベント、PRの実施 (今後の方向性) ・各観光施設のイベント実施及びPRによる誘客促進 ・観光協会・観光ガイドの会による観光メニューのPR及び運用	29.7万人	1 体験型観光メニューづくりと推進 ・香美市観光協会における体験メニューの磨き上げ ・観光施設における集客イベントの開催 2 観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進 ・「香美市観光ガイドの会」による研修等の実施、観光メニューの運用 ・周辺観光施設と連携したセールス活動の実施 ・HPや広報誌を活用した情報発信		

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出发点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
観光	24 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市) 【実施主体】 ◎・(公財)龍河洞保存会 ◎・(株)龍河洞みらい ・龍河洞エリア活性化協議会 ・香美市	観光客入 込客数 12.6万人 (R元) ※1~12月	12.6万人	7.6万人	11.0万人	15.0万人	1 基本計画の推進及び施設等の改修 ・雨よけ施設工事(7月~2月) ・老朽化施設解体工事(8月~2月) ・デジタルルーム設計(4月~1月) ・西本洞の開設(4月) ・西本洞コースの広報・セールス 2 広報・PR ・旅行代理店や宿泊施設等へのPR 3 集客イベントの開催 ・季節ごとの集客イベントの実施 ・夜間営業の実施	1 基本計画の推進及び施設等の改修 ・雨よけ施設の整備 ・老朽化施設の解体 ・デジタルルーム設計(4月~R4.1月) ※高知県観光移設等緊急事業費補助金の活用 ・西本洞の開設(4月) ・西本洞コースの広報・セールス →R3入込客数:144人 2 広報・PR ・東京会場での観光説明会に参加(4月) →龍河洞90周年、西本洞をPR ・エージェント現地商談会(10月) →旅行エージェント11社と面談。「西本洞/水の洞窟」、校外学習の実績をPR ・高知県教育旅行及びスポーツ合宿説明会(12月) ・お客様満足度SNS発信(8月) ・宿泊施設入洞料割引券配布(8月) ・龍河洞90周年記念オリジナルフレーム切手の販売(8月~) 3 集客イベントの開催 ・龍河洞冒険王(4、5、8月)、90周年イベント(8月)、ハロウィンイベント(10月)、クリスマスイベント(12月)の実施 ・夜間営業の実施	7.7万人 ・R3目標達成率:70.8% ・対前年比:101.8%	C (成果) ・老朽化施設の解体が完了した ・雨よけ施設設置による安全性・利便性の向上 ・前年度に実施した学校関係へのPRにより教育旅行の増 (課題) ・コロナ禍における集客効果の高いセールス、イベントの実施 ・ガイド養成 (今後の方向性) ・デジタルルームの施工に合わせPR映像の制作 ・四国内を中心とした教育旅行のセールス ・冒険洞、西本洞のガイド育成	13.0万人	1 基本計画の推進及び施設等の改修 ・デジタルルーム建設 ・西本洞コースの広報・セールス ・ガイドの確保・育成 2 広報・PR ・旅行代理店や宿泊施設等へのPR 3 集客イベントの開催 ・季節ごとの集客イベントの実施	

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、18のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要（目指す姿）	取り組み状況		
物部川	農業	No.2 南国市農業クラスタープロジェクト	主要農産物であるニラ、シシトウ、ピーマン類と「還元野菜」の生産拡大を核に、市内の消費拡大（地産地消）や加工品の開発及び観光などの連携（地産外商）を強化し、「南国野菜」の産業クラスター化を通じて、南国市の特色を生かした「稼げる農業」の実践により、地域活性化に繋げる。	これまでの取り組み（H28～R3）	<p>主要農産物であるニラ、シシトウ、ピーマン類の生産拡大に向けて取り組んでおり、電解水素水を活用した収量や機能性向上の実証試験を実施した。また、西島園芸団地が自社の還元野菜・フルーツの販売サイトを設置し、電解水素水を使用した自社商品（メロン・スイカ・マンゴー等）を販売した。</p> <p>新たなクラスタープランをR3.6.25に策定した。</p> <p>ニラ、シシトウ、ピーマン類の生産拡大については着実に取り組んでいる。また、販売分野では西島園芸団地の販売サイトで(株)南国スタイルのパプリカや個人農家の栽培するスイートコーン・さつまいもの販売を開始した。加工分野では南国野菜を使用した加工品づくりも一定進んでいる。</p>	
		関連する地域AP No.2 南国市農業生産拡大プロジェクト No.3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化 ほか		R4年度の計画	<p>加工品開発の地域ニーズの掘り起こし、還元野菜以外の野菜を活用した商品開発の促進に取り組む。また、プロジェクトチーム会及び1次、2次、3次WGを開催し、具体的な取り組みを進めていく。</p>	
		No.3 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト		日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラの生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクト（「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」）に取り組むとともに、そぐりセンターの活用や、新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店でのメニュー開発等によりクラスターの形成を図る。	これまでの取り組み（H28～R3）	<p>生産拡大へ向け、ニラそぐりセンターの整備に向け準備を進めた（R2.4.1から稼働中）。また、ニラを核とした町おこしの推進のため、観光協会や食品会社等との連携による加工品の開発と商品化に取り組んだ。</p> <p>R2年度からニラそぐりセンターが稼働を開始し、処理量（製品）が日量830kg（R3.4～12月平均）（目標1,000kg）、利用農家数は32戸に拡大した。また、規模拡大農家5戸・91a（R3）と一定の生産拡大が進んでいる。</p> <p>関係機関と調整のうえ、R3年度にクラスタープランを策定。</p>
		関連する地域AP No.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト No.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 ほか			R4年度の計画	<p>ニラの生産拡大に向けた新規就農者の受入体制強化とそぐりセンターの安定稼働、ニラの地消・加工の推進とそのためニラの確保に向けてJA等と調整していく。</p> <p>地元飲食店等との連携によるニラを活用した地域イベントの充実を図る。</p>

2 令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

取り組み	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 22 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進（南国市）</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>4/5 交付決定</p>	<p>非破壊糖度センサーの購入と商品開発にかかるアドバイス</p>	<p>785 千円 (356 千円)</p>
<p>■No. 22 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進（南国市）</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>11/2 交付決定</p>	<p>パッケージデザインの変更とイチゴ狩り予約システムの導入</p>	<p>1,556 千円 (707 千円)</p>